

PATENT ABSTRACT

(11) Kokoku Publication number: 56-21425
(22,44) Date of Publication of application: 19.05.1981
(51) Int.Cl. A61H 23/02, 39/04
(21) Application number: 48-11388
(22) Date of filing: 28.01.1973
(71) Applicant: Shinjiro OTAKI, Hiroshi OGINO
(72) Inventor: Shinjiro OTAKI, Hiroshi OGINO
(54) Title: Simple Acupressure Apparatus Using
Vibrations

(57) Abstract

A downsized portable simple acupressure apparatus is a fountain-pen-shaped acupressure apparatus using vibrations wherein; a vibration device operated by a core with a battery as a power source is housed in an inner cylinder of a case comprising double cylinders; a plurality of acicular acupressure elements are provided at the bottom of said inner cylinder; said acupressure elements at the bottom of said inner cylinder are contacted with a skin surface by pressing a press bar which projects from the top of an outer cylinder to switch a cam and press down a contacting bar while and at the same time an electrical circuit is formed to cause said acupressure elements to vibrate and massage a local area of said skin surface; and the stimulation on said skin surface is adjustable according to acupressure levels of said press bar.

⑫特許公報(B2) 昭56-21425

⑬ Int.Cl.³
A 61 H 23/02
39/04

識別記号

庁内整理番号

6404-4C
6365-4C

⑭公告 昭和56年(1981) 5月19日

発明の数 1

(全2頁)

1

2

⑮バイブレーション利用の簡易指圧器

⑯特 願 昭 48-11388

⑰出 願 昭 48(1973) 1月28日

公 開 昭 49-98087

⑱昭 49(1974) 9月17日

⑲発 明 者 大滝信四郎

東京都港区白金台5-6-17

⑳発 明 者 荻野寛

東京都中野区若宮2-36-18

㉑出 願 人 大滝信四郎

東京都港区白金台5-6-17

㉒出 願 人 荻野寛

東京都中野区若宮2-36-18

㉓引用文献

実 公 昭 12-8100(JP, Y1)

㉔特許請求の範囲

1 万年筆型バイブレーション利用の指圧器に於て、二重筒からなるケースの内筒に乾電池を電源としコアーにより作動する振動装置を内蔵し、下端には複数本の針状指圧子を設け、外筒の上端に突設したプッシュ桿を押圧しカムの切換えにより接続杆によつて下端の指圧子を皮膚面に向つて衝接すると同時に電気回路が形成され指圧子はこれによつて振動を起し局部をマツサージし、プッシュ桿の指圧の加減によつて皮膚面に与える刺激を調節出来るようにしたことを特徴とする小型で携帯用のバイブレーション利用の簡易指圧器。

発明の詳細な説明

従来の此種バイブレーターによる指圧器は指圧子として針を複数本使用し皮膚面に押圧したものがあつた。単に針を皮膚面に衝接するのみでその押圧の強弱によつて局部的に行なつていたが、これ等は長時間指圧を続行しなければその効果はな

然るに本発明のものは単に指圧するのみでなく、指圧によつて強弱が加減できるバイブレーションによつて皮膚面を刺激するので、その効果は従来のものと比較にならぬ治療効果が得られるものである。

即ち一実施例である図面について説明すると、略万年筆型の二重筒からなり内筒2内にバイブレーター3を嵌装し該バイブレーター3は乾電池12の接続により作動するようにし、下側端には複数本の針状指圧子4を植設した取付板5によつて螺着し外筒1の上端には指圧子突出と回路形成用のプッシュ桿7をスプリング8によつて上方へ突出せしめ該スプリング桿7の下側には内筒2の降下と乾電池12の一方の電極を接続する接続杆10をスプリング6によつて保持している作動用のカム9を設け、常時該接続杆10はスプリング6によつて回路をたつた状態で保持している。

尚11はクリップで洋服等のポケットに差込み保持するようにしたものである。

本発明は上記のような機構からなり、これの使用法は先ず皮膚面に本器の下端を当がい上端のプッシュ桿7を押圧すると該プッシュ桿7の下端はカム9を押して少しく回動し、そのカム9は接続杆10をスプリング6を圧して乾電池12の後端を衝接して内筒2を押し下げる。これと同時に電気回路が形成されるのでコアー3によりバイブレーションが始まる。その際は下端の指圧子4は皮膚面に軽く衝接しているので、心地よい振動によつて皮膚面を刺激するので、従来の無振動のものと異なり迅速なる治療効果をはたすものである。

しかして振動の強弱は上端のプッシュ桿7の押圧の加減によつて皮膚面に与える刺激の調節ができる。又指圧子4は第3図の如く針の必要なく球状とし、そのアール面を利用すれば多少刺激が強くとも皮膚面に損傷を与えることなく気持ちよくマツサージすることができる。

本発明は上記の如く従来の指圧子に針状のもの

3

4

を使用し、これをバイブレーションによつて更に円滑な刺激を皮膚面に与えるものであるが、携帯至便ならしむるため乾電池を使用し、これを電源として電磁コアーの鉄板断続接続の振動を利用してバイブレーションを起し、しかも皮膚面衝撃の強弱は上記したようにプツシュ桿の押圧の程度によつて調節出来るようにしたので患部に合つた使用ができるので、治療効果もまた従来のものに比し極めて有効で使い易い。

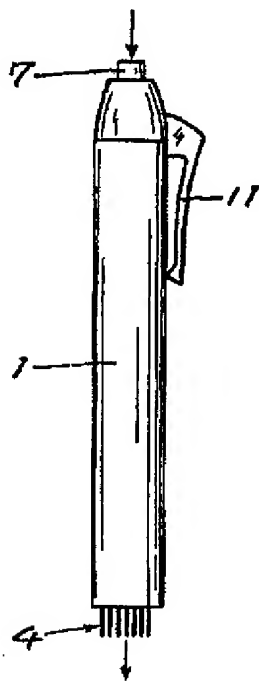
図面の簡単な説明

本図面は一実施例を示したもので第1図は正面

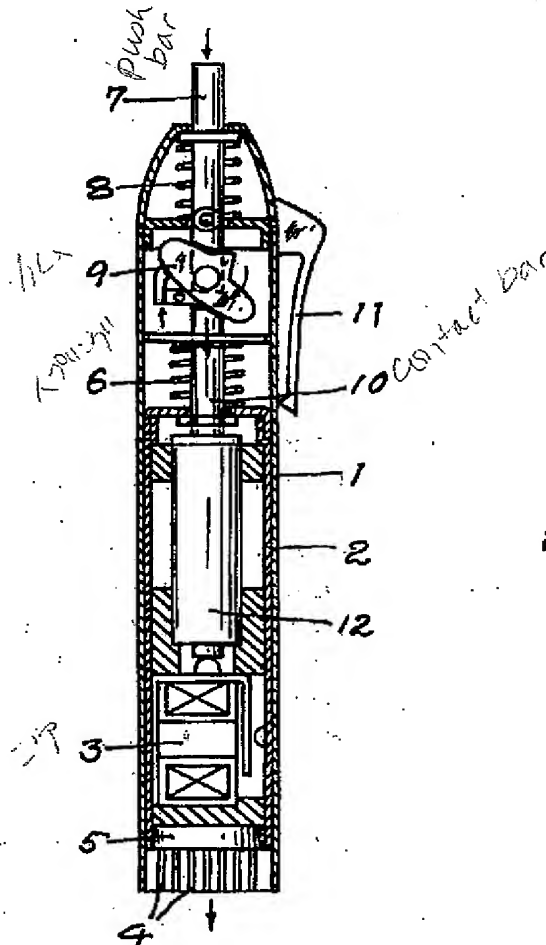
図、第2図は同上の拡大断面図、第3図は機構を少しかえ又指圧子を球体とした正面図である。尚第1図のものは使用状態を示し第2図は不使用の状態を示した断面図である。

図面において、1……外筒、2……内筒、3……バイブレーター、4……指圧子、5……指圧子を植設した取付板、6……スプリング、7……プツシュ桿、8……スプリング、9……カム、10……接続杆、11……クリップ、12……乾電池、10'……指圧用球体。

第1図



第2図



第3図

